

天理教 江南支部だより

発行先
発行日
発行責任者
発行住所

江南支部
立教188年 8月1日
九里正昭
甲賀町神1750番地の1
8月号 N0300



教祖百四十年祭

全教一斉にをいがけデー 9月28・29・30日 9月は全教会布教推進月間



江南支部の取り組み

江南支部は、統一活動日として9月29日、30日は午前8時30分に近南分教会へ集合。班分け後、グループごとに割り当てられた密集住宅地をリーフレット配布。

各組の取り組み

甲南組は、9月28日午前10時甲南分教会へ集合。天保義民の碑まで神名流しを行い、碑の前で路傍講演を実施。

信楽組は、教会ごとに実施。

甲賀組は、9月28日は組でをいがけ活動を行う。

※ 昨年に続き、他の9月の日には全教会布教推進月間として、布教活動を展開してください！

令和7年度 少年会滋賀教区団総会案内

日時：10月5日（日曜日）午前10時～

開場：天理教中野大教会 東近江市妙法寺町770番地

内容：総会

式典 座りづとめ、よろづよ八首

大抽選会

対応一つでおたすけはできる

ある研究によると、世間で成功している人の多くには共通点があるそうです。それは「人の嫌がること、人の心を傷つけることを言わない」ということ。どうしても言わねばならないときは、傷ついた心を「手当て」する言葉を用意しておく。これが、成功するための秘訣^{ひけつ}の一つといえます。

私たちお道の者も、おたすけの際に、相手にとって耳の痛いことや厳しいことを言わねばならないときがあります。ここで失敗する人が結構いるのです。言いたいことを言い、嫌な思いをさせただけで終わるとどうなるか。当然、相手の心は傷つきます。あるいは、こちらに不足したり腹を立てたりして、反発してくる人もいるでしょう。いくらおたすけのつもりでも、こうしたことを繰り返すうちに、お互い心に傷を負い、運命はどんどん落ちていってしまいます。

この道は「通り返し」と聞かせてい

たきます。自分の言葉によって、相手が怒ったり落ち込んだりしたら、なぜ厳しいことを言ったのか、その理由をきちんと伝えてフオーローする。そうすれば、相手の心は治まり、しこりも残りません。言葉一つにも細心の注意を払い、慎重に選んで、声をかけたいものです。

反対に、自分が人から嫌なことを言われたときは、それに反応せず、サツとかわすことです。まともに受けたら、こちらも傷を負いますし、相手の運面^{うんめん}も落ちていきます。何か返事をするにしても、「はあ、そうですか」くらいに留^{とど}めて、さらっと受け流す。それが、たすけ心をもった受けとめ方と言えます。

さらに上手な方法は、わざと一度やられてあげることです。神妙に話を聞いて、相手が言いたいことをひとしきり言った後、タイミングを見計らって、「かしもの・かりもの」や「八つのほこり」などの教理を説き、「体の使い方、言葉の使い方^{じゅんじゅん}を間違えてはいけませんよ」と諄々^{じゅんじゅん}と諭していくの

です。

私たちは日々、いろいろな人と関わり合いながら生きています。どんな人との関係も、接し方一つで良くも悪くもなる。つまり、その対応一つでおたすけができるということです。

教祖の教えは、非常に奥深いものです。知識として頭に入れておくだけでなく、日々の生活や人との関わりのおかげで、どのように生かしていくか考えて、実践に努めていただきたいと思います。

『みちのとも』より一寸いい話 節は親神様からのお導きと悟って

別所真紀子 攝和分教会長夫人

このたびの三年千日活動のお打ち出しを頂いたとき、私はこの旬の一日一日を心明るく喜んで通ろうと心定めしました。心の持ち方一つで、周囲の状況はおのずと変わってくるように思います。とはいえ、すべて喜びに変えて通ることの難しさは、これまでたびたび体験してきました。喜ばないときは、

救祖のひながたを見つめておわびを申し上げ、心新たに勇ませていただく今日の旬でありましょう。何ともならないつらい節を頂いたときほど、「節のおかげ」と分かせていただくのです。信仰生活の日々、生かされていることに感謝し、教祖にもたれ、教祖と向き合いながら心明るく通らせていただいています。

そんななか、昨年12月、高校生の娘が盗撮被害に遭いました。それも2件もです。神様は何を知らせてくださったのでしょうか。

一人の加害者は未成年でした。母親が長く入院しているため父親との二人暮らしで、家事をしながら大学進学を目指すなか、心身のストレスが高じていたとのこと。もう一人は二十代の会社員。仕事の激務のストレスから犯行に及んだとのことでした。

ともあれ、まずは娘自身に危害が及ばず無事であったこと。大難を小難、小難を無難にご守護いただいたことを喜び、感謝申し上げます。

先方のそれぞれのご家族には、会長

から「私たちは天理教の信仰者です。今回のことは、こちらにも非があったのかもしれませんが。もし何かお力になれることがありましたら、させていただけます。ご家族一人ひとりが神様に守られ、明るい未来に導いていただけるよう願っております」とお伝えしました。

その方たちの「誰かたすけてください！」という心の叫びを、娘を通して知らせていただけたことを思い、この節は親神様のお導きであり、親心からの節であったと悟らせていただいています。成ってくるのが天の理と素直に受けとめ、自らの心の持ち方を見直す機会を与えていただきました。

親神様のお心を感じ、実行し、教祖のひながたを常に心に置いて、年祭の旬を心明るく、喜び勇んで通らせていただきたいと思います。



教区啓発委員会主催

第7回「一れつきょうだい」推進研修会のご案内

日時：10月2日午後12時30分～14時

場所：滋賀教務支庁

内容：「ハラスメントについて気を付けること」

講師：山浦美紀氏 弁護士

(教会本部顧問弁護士の一人)

申込み：支部ごとにまとめて教区へ(名前、教会名)

締め切り：9月29日

岡田悟「元の理」待望の第3弾

教祖140年祭・記念出版

どろ海からのメッセージⅢ

絵本 もとのり

世界の子どもたちに
元の理を伝えよう！

絵：岡田 悟
文：元の理七福人
頒布価格：1,000円



全教会に、ようぼく家庭に是非1冊！



おやがみさまは
つぎつぎどうぐを
いぬいのほうに
かたくてしやきつと
からにきつぱり
おんてはぬの
つきまなまき
そのはたらき
してんたおのり
おんこひながた
いごはまき
まうこんで
さがします
しやちんが
とわはって
さきえてる
はたらきを
なづけます
うまのなか
いたないて
さきあがり
なづけます

お父さん
お母さん の 読み聞かせ

絵：目に飛び込んでくる29のシーン
文：リズムカルで心に響く七五調

絵本 もとのり

令和8年1月26日発売開始

10月鹿深の家ひのきしん

10月6日午前9時から11時30分

